



Change! 2022 ニュース

No. 24

Change! 2022 推進委員会 2021. 6. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「会員増強から見た湘南・沖縄部の問題と課題」

湘南・沖縄部エクステンション委員会
 委員長 辻 剛 (横浜つづき)



【支援策3点セット】

湘南・沖縄部では、1クラブの平均会員数が東日本区の中でも最少(11.2人)で、財政的にも弱小クラブが多い。因みに東日本区の平均は13.8人です。

そのことから以前より部としてできる限りの支援・補助

の対応を図り、会員増強支援策の強化を進めてきました。これまで「スポンサークラブは原則部とする」、「新設クラブのチャーターメンバーの入会金は部の負担」を決めてきました。先々月の第3回評議会(4/17)で、「既存クラブへの新入会員の入会金も部が負担する」ことを決め、会員増強支援策3点セットが出来上がりました。

【クラブの呼称見直しについて】

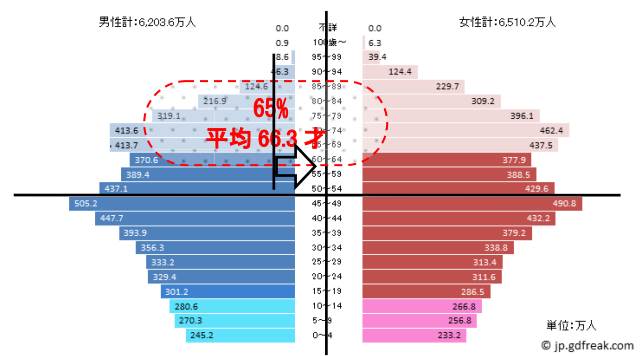
私の所属しているクラブの呼称は「横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ」です。誰もがクラブに少しでも入りやすい環境を整えるための方策として、部所属の各クラブの皆さんに、呼称を『〇〇ワイズメンズクラブ』から『〇〇Y-サービスクラブ』に変更できないか、検討をお願いしています。長い間慣れ親しんできたクラブの呼称を変更することが如何に難しいかわかりますが、それを承知の上でのお願いです。これらは会員増強対策としてはあくまでも対症療法的措置であり、根本的な対策ではありません。あくまでもクラブを作りやすくする、新入会員が入りやすくする環境整備策にすぎません。

【バランス論】

東日本区はいろんな意味でバランスのとれた会員構成を目指すべきだと考えます。次の「日本の人口構成」グラフをご覧ください。現在、東日本区の半数以上を占める部分を楕円で示しました。東日本区の健全な発展を願うなら、各世代の会員がいて、多様な意見・アイデ

アが飛び交うことが理想の姿です。長期的には幅広い年齢層の獲得を目指しますが、残り1年半になったChange! 2022キャンペーン期間中の短期的目標として、少しでも円の中心線をグラフの中心線へ寄せ、バランスをよくしたいと考えています。

日本の2020年1月1日の人口構成(住民基本台帳ベース、総人口)



【クラブを超えた部内の協働】

「つながりマスク」では、部内でクラブを超えた協力の輪が広がり、合計22名の賛同者を得て合計1,500枚以上のマスクを作り、希望者に贈呈してきました。ポスト「つながりマスク」として、「幼児に対する絵本の読み聞かせ」プログラムの検討を開始しています。ワイズ以外の方々にも協働の声掛けをし、共感を得て共に取り組みながら、最終的に新会員の獲得につながることを期待しています。

【沖縄問題について】

部の「会員増強計画」に影響を及ぼす事態が発生しています。沖縄クラブから解散届が提出されました(5/19)。その内容は、京都トゥービークラブ(沖縄クラブDBC先)を親クラブとして沖縄に2クラブを同時に設立し、西日本区に「沖縄部」を新設する、というものです。実は昨年10月、沖縄クラブから西日本区へ移籍したい、との申し入れがありました。地理的、地政学的に見て、沖縄のクラブが西日本区へ移籍することは合理性のあることだし、日本全体のワイズメンズクラブの発展に寄与するなら、東日本区、湘南・沖縄部ともに、これを是認することにしました。

一方、沖縄那覇クラブからは、正式な解散届は提出されてはいませんが、6月末に解散するとの情報があります。つまり沖縄クラブとは共同歩調は取らないことに

なります。沖縄クラブの件は「東」から「西」への移動ですから、オールジャパンで考えれば会員の純減ではありません。しかし、沖縄那覇クラブについては、純減につながる話ですから、部をあげて対応を検討する必要がありますと思います。

クラブの解散はこれまでも多くの例がありますが、「東」から「西」への移動は、歴史的に見ても初めての経験で、ワイズという組織が大きなターニングポイントを迎えていると思います。

《 辻 剛さんのプロフィール 》

1938年8月30日生まれ
 2006年5月 横浜つづきクラブ入会、初代会長
 2008 - 2009年 東日本区国際・交流事業主任
 2009 - 2010年 湘南・沖縄部部长
 2012 - 2015年 東日本区文献・組織検討委員長
 2017 - 2019年 東日本区定款改訂委員長
 2020 - 東日本区法人化準備委員会オブザーバー
 2019 - 2021年 東日本区監事

▼ 新入会者を多数紹介したワイズは・・・!

「『楽しい』を広げる、ただそれだけ」

クラブEMC委員長

宮岡 宏実 (甲府 21)



Change! 2022 ニュースに寄稿してほしいとのことでお話をいただきましたが、正直、何を書いているかわかりませんでした。

私はまだ入会して2年ですが、甲府 21 クラブの素晴らしい先輩の皆様とともに、例会をはじめ

様々なイベントに参加させていただき、とてもいい勉強をさせていただいております。

私の中では、「会員を増やす」「会員を増やさなきゃ」という感覚は全くありません。せかさされたり、煽られたりするのとはとても嫌いなので、ノルマを課せられていたらむしろ全く勧誘はしなかったと思います。でも、私の気持ちの中で「この素晴らしい会をみんなに伝えてあげよう」と思ったので、人と会うたびに会のことを伝え、直近の例会に誘いました。ただ、それだけです。

もちろん、私が来てと言ったからといって全員が来る訳ではありません。でも、逆に、来る人は会に興味があるということです。一度来た方がさらに興味を持てば、二度目にいらっしゃることになります。それで最終的に入会して仲間となります。

大切なのは・・・、

- ▼ クラブが楽しいということ
- ▼ 自分が心からそう思っていること
- ▼ 常に声をかけること

だと思います。

当たり前すぎて、文章にして皆様に読んでいただくのは申し訳ありませんが、以上が私の活動です。

今後ともよろしく願いいたします。

(※宮岡宏実さんは、第24回東日本区大会において、会員増強特別賞の最優秀賞を受賞されました。本紙4ページに掲載)

「新クラブづくりのヒント」

クラブ会長・JEF委員長

高田 一彦 (千葉ウエスト)



私にとってのクラブ設立の動機は、横浜から船橋へ移った時に、船橋教会に嘗て存在した船橋ワイズメンズクラブと船橋YMCAの姿はなく、その再興を目指すことが大きな夢となったことである。

▼ 情熱を持つこと(動機が大切)

クラブづくりでは、何故作らなければならないかの必然性や動機を大事にすることが大切で、それに向かっずてまず、自分が燃えること。絶対にクラブを造るという夢と思い込みが大事! 常にワイズの事を考える(頭の隅に入れておく)。

▼ 強力な同行の士を一人以上作る

一人じゃ難しい。最初は一人かも知れないが、強力な同志を見出したら一緒に活動する。一人で頑張っても、壁にぶつかり、腰砕けになることがあるので、相談できる同胞が一人でもいることが、継続性の秘訣となる。

▼ 常にワイズやYMCAの事を喋る

機会あるごとに、ワイズやYMCAに関わることを話題にして喋りまくる(結構この情熱が周りに伝播していくものである)。そして脈がありそうな人には徹底した声掛けをし、機会あるごとに連絡して、発信を続ける。

(次のステップでは、結構ワイズ向きか否かの見分けは大事となるが)

▼ 地道な努力と継続性

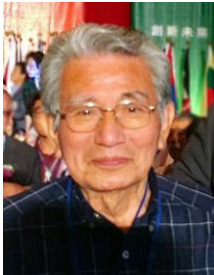
このような活動は、安易に事が運ぶことはないの、やはり、地道な努力と継続性が大事で、決してあきらめないという信念を持つことである。

YMCA をまったく知らない人への誘いは、本当に難しいので、根気良くYMCAの素晴らしさを伝える必要がある。

「新しい『ワイズメンズクラブ』の誕生は いつも頼もしい、喜ばしい」

クラブ書記

権藤 徳彦 (東京町田コスモス)



▼ 地域と共に生きる“奉仕”の チームを創る

今、地球全域にコロナウイルスが蔓延して2年目を経過中です。ヒトの「健康」は脅威の中にあり、ヒトの日常に分断・不安・生活不全が生じました。

一方で、何と幸いにもスマホとZoomが一躍必需品となる社会行動様態に変貌しています。内外に、「生きる環境」の悪化から「健康と健全」の回復に、ワイズの奉仕活動は向います。目前にワイズメンズクラブ国際協会は100年を迎えます。

新しい地域に、利を計らず、生きる命に奉仕する[Make a Difference]～新しい姿の頼もしいクラブ～が受け容れられ、生まれることが期待です。

▼ 着目は、“会員の数”だけではありません

それぞれの地に、一つではない多様な、新しい個性の姿の行動的「奉仕クラブ」があり得ます。使命は自らの利を計らぬ奉仕、“Do for Others!”(利他)を忘れない働きです。自らの奉仕の中にワイズは生かされます。“よそ者”ではなく“地の者”、無ければならない「地の塩」としての働きに努めることが、祝福の道ではないでしょうか。

▼ YMCAを支えワイズを生み出す

新設YMCAを30年にわたり支え、今にあるワイズメンズクラブは、中高年の生き甲斐が生む奉仕活動でボランティアチームを立上げ、障碍ある青少年の支援を法人設立で支援し、その近隣と「歌声ひろば」で交流を広げ、また企業と社会人タッグ型社会貢献として毎月1回2時間(年24時間)の「児童科学実験教室」でボランティアの継続交流を育て、不登校児の親の会、さらに近隣大学の留学生と邦人学生の国際交歓キャンプのプログラム等、地にある資源を繋ぎ、時と共に歩き、「健やかな成長への貢献と奉仕のバリュー」を広げる奉仕活動が、6つのワイズメンズクラブを生み出しました。

▼ 青年には「未来」があり、地域に若者を育くむ持続的 環境づくりは必須です

「東新部」は、東京都心から日本海・新潟まで広がっています。都心・新宿も日本海最大都市・新潟も、若人の新しい動態が未来を豊かな可能性で応える最初のワイズ・ファイブを期待しましょう。これからは、国籍も超

える若者の交わり、新潟に居て地元の発展のみならず、都心の仕事をも動かす時代になることでしょう。東京・新潟の南北ラインの未来展開は、東新部の希望です。多様化する新しい資源とスキル、心優しい溫柔(ウンロウ・中国語)で、持続的につながる新しいクラブを開発しましょう。

▼ 第6回 拡大EMC事業委員会 報告

会員増強事業主任

伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)



日時：2021年6月2日(水)

19:00～20:45

場所：Zoom 会議

出席：合計24名(下線は委員長)

≪EMC事業委員会＝会員増強事業主査≫3名

伊藤幾夫、関東東部：浅見隆

夫、あずさ部：野々垣健五、湘南・沖縄部：千葉裕子

≪エクステンション委員長≫4名

東新部：太田勝人、あずさ部：菰渕光彦、湘南・沖縄部：辻剛、富士山部：久保田康正

≪部長≫5名

北海道部：中村義春、北東部：南澤一右、関東東部：柿沼敬喜、あずさ部：御園生好子、富士山部：伊藤一芳

≪Change! 2022 推進委員会≫8名(1名は重複)
相磯優子、伊藤幾夫(重複)、榎本博、大川貴久、栗本治郎、中村孝誠、深尾香子、藤井寛敏

≪オブザーバー≫5名

板村哲也(区理事)、小山久恵(区書記)、佐藤重良(次々期区理事)、衣笠輝夫(次期区書記)

【報告】

司会は伊藤幾夫(会員増強事業主任)が担当。東日本区理事板村哲也さんの開会挨拶の後、Zoom会議の出席者が名簿順に5秒程度で顔見せ自己紹介。

議事①は、第5回拡大EMC事業委員会報告、事前に送付した報告書で確認。

議事②は、伊藤主任より、今期の活動の振り返りをスライドで共有しました。次に、事前に送付した「コロナ禍での各クラブ例会実施状況一覧表」で各クラブの例会の持ち方について分析しました。多くのクラブがコロナの影響を受け、中止を余儀なくされたことがうかがえます。また、Zoomによるオンライン例会を取り入れたクラブが31クラブありました。その中で、オンラインと対面(リアル)例会を併用した「ハイブリッド例会」を

取り入れたクラブが 20 クラブあります。コロナという「負」の中から、新たな「ツール」としてオンライン (Zoom) を獲得したことは、今後のワイズ活動にとって「希望」と言えます。課題としては、今回の調査でオンラインに繋げることができない (Zoom を利用できない) クラブが半数近くあることも考えられますので、利用できる環境を整えていくにはどのようにしたらよいか、区全体で考えていくことが必須と思われます。

次に、今期の会員増強事業表彰 (下記) について、EMC 事業委員会のみなさんに承認をいただきました。

議題③は、各部のエクステンション委員会 (以下 EXT 委) の進捗状況を伺いました。

北海道部は、EXT 委を開くことすら難しい状況とのこと。

北東部は、EXT 委の共有はできていない。石巻広域クラブが IT を活用した活動をしているので、参考にしたいと考えている。

関東東部は、現在コロナの影響で動けていないが、収まったら動けると思う。

東新部は、現在はコロナで進展はないが、候補者リスト作成の準備はしている。

あずさ部は、6/4 (金) に第 4 回 EXT 委を開く予定。今はコロナで人が集まることが難しいが、収まれば甲府駅近くの新クラブの進展もあると思う。

湘南・沖縄部は、Change! 2022 ニュース 24 号 (今号) 巻頭言に書かせていただきました。沖縄クラブの解散 (西日本区へ移籍) は異例のことだが、部としては承認した。

富士山部は、EXT の動きはないが、来期は考えたい。

次に、参加者全員からこの 1 年の感想を話していただきました。個々の内容は割愛しますが、多くの方々から、コロナ禍でワイズ活動に大きな影響がもたらされたこと、収まったら会員増強にも励みたいということでした。

最後に、次々期理事の佐藤重良さん (甲府 21) からご挨拶をいただき閉会しました。

1 年間ありがとうございました。

▼ 会員増強事業表彰 発表 !

会員増強事業主任 伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)

第 24 回東日本区大会は、6 月 12 日 (土) 午後 1 時 30 分より、甲府湯村温泉郷の常磐ホテルにおいて、Zoom ウェビナー併用で行われました。

その中で、会員増強事業表彰を下記の通りに行いましたので報告いたします。



【Zoom画面に表示された会員増強表彰のタイトル】

EMC-E 部門

- ▼ **新クラブ設立賞** (千葉ウエストクラブをチャーター) :
千葉クラブ (スポンサークラブ)
関東東部エクステンション委員会

EMC-MC 部門

- ▼ **最優秀賞** : 甲府 21 (9 名 入会)
- ▼ **優秀賞** : 石巻広域 (5 名)、御殿場 (4 名)、東京サンライズ (3 名)、熱海 (3 名)
- ▼ **努力賞** (2 名 入会) : 宇都宮、足利、もりおか、東京世田谷、甲府、所沢、横浜、沖縄那覇

SNS活用部門

- ▼ **クラブの“魅力”発信賞** : 石巻広域 (YouTube、FB 等を活用し、ワイズメンズクラブの活動を広く外部に発信、会員増強にも結びました。)

エクステンション委員会部門

- ▼ **最優秀賞** : 関東東部 (新クラブ設立に向けた継続的な活動や「EMC を考える集い」の開催)
- ▼ **優秀賞** : 東新部、湘南・沖縄部、あずさ部 (東新部は「EMC セミナー」の開催。湘南・沖縄部は毎月委員会を開催し、「つながりマスク」作成などを通して会員増強に努めた。あずさ部は 4 回の委員会を開催し、新クラブ設立を模索した。)

特別賞 個人として会員増強に貢献

- ▼ **最優秀賞** : 宮岡宏実さん (甲府 21) 7 名
- ▼ **優秀賞** : 高田一彦さん (千葉ウエスト) 4 名、大久保知宏さん (宇都宮) 2 名、諏訪治男さん (足利) 2 名、濱塚有史さん (もりおか) 2 名、石川光晴さん (石巻広域) 2 名

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)

5 月には、下記の方が入会されました。(敬称略)

No.	新入会者 (クラブ名)	紹介者
1.	神野 裕子 (御殿場)	休会復帰
2.	長坂 善雄 (甲府 21)	宮岡 宏実
3.	村上 由美子 (甲府 21)	宮岡 宏実